

大粒ハフハフ! 旬をたっぷりと

親子で石巻産カキを楽しんだ

3年ぶり「石巻かき祭り」

地元産PRで消費拡大

石巻産カキの消費拡大に向けたPRイベント「第19回石巻かき祭り」が令和4年11月23日、セイホクパーク石巻で開催されました。コロナ禍で3年ぶりとなったイベントはあいにくの雨となり、肌寒い気温でしたが、それでも蒸しガキやノリカキ汁、地元水産会社が市価の3~5割ほど安く生食用のカキを販売。味覚を求め、市内外から約4千人が訪れました。

イベントは、石巻かきブランド化事業委員会(石森裕治会長)が主催。より広く交通の便の良い会場を求め、初めてセイホクパークで開催し、地場産品を販売する「宮城げんき市」も同時開催され、相乗効果を生みました。会場では、前日に水揚げされたかきを使ったノリカキ汁(800食)やクラムチャウダー(400食)、身の大きな2年物の蒸しガキ(1,000食)が用意され、熱々の大粒を頬張る姿が見られました。



△イベント記念のテープカットを行った



△殻付きカキなどを市場価格の3~5割引きで販売

身近なことから! SDGs

Sustainable (サステナブル:持続可能な)
Development (ディベロップメント:開発)
Goals (ゴールズ:目標)

SDGs (持続可能な開発目標)は、地球上に住む全ての人々が暮らしやすい社会を将来に引き継いでいくための世界共通の17の目標です。

SDGsと聞いて、「なんだか難しそう」「遠い世界の話」と思いませんか?実はSDGsの取り組みはとても身近にあり、日常生活の中ですでに取り組んでいることや取り組めることがたくさんあります。そんな「実は身近なSDGs」について、紹介します。☎ SDGs移住定住推進課(内線4224)

環境ラベル製品の購入でSDGs!

環境ラベルとは、商品やサービスがどのように環境負荷を抑えているかを教えてくれるマークや目印のことです。ラベルの種類はたくさんありますが、今回は、その中から3種類を紹介します。環境ラベル製品を購入することで、環境を守ることにつながりますので、これからの買い物の際にはぜひ手に取ってみたいはいかがでしょうか。



12 つくる責任
つかう責任

環境ラベル 編

エコマーク



エコマークは、「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられる環境ラベルです。エコマークがついた商品を選ぶことは、持続可能な社会の形成、SDGs達成の貢献につながります。

身の回りのエコマーク製品
ノートやボールペンなどの文房具、タオル類、トイレトーパーなど

グリーンマーク



グリーンマークは、古紙利用製品の利用を拡大し、紙のリサイクルの促進を図ることを目的としています。グリーンマークを表示することができる製品の要件は、古紙を原則として40%以上原料に利用した製品であることですが、トイレトーパーとちり紙は、古紙を原則として100%原料に利用し、コピー用紙と新聞用紙は、古紙を原則として50%以上原料に利用したものとされています。

身の回りのグリーンマーク製品 トイレトーパー、コピー用紙など

FSC®マーク



FSC®マークは、適切に管理された森林からの木材や、適格だと認められたリサイクル資源から作られた商品に付けられるマークです。FSC認証製品を選ぶことで、森林の生物多様性を守り、地域社会や先住民、労働者の権利を守ることにつながります。

身の回りのFSC認証製品
年賀はがき、紙袋、食品パッケージ、紙パック飲料など



みんなのた場

サークル仲間 ⑭

河北公民館クリスマスおはなし会

ひだまりの会読み聞かせ
親子で本の楽しさ体験

河北公民館主催の「クリスマスおはなし会」。恒例行事として毎年開かれており、多くの親子が訪れて絵本の世界を楽しんでいます。読み聞かせを行うのは、地域のボランティアグループ「ひだまりの会」。平成13年に有志が集まり結成されました。現在は30代から70代までの地域住民15人が参加し、同公民館の図書室で月1回、読み聞かせイベントも開いています。

の人の笑顔に出会えることがやりがいになっています」と話していました。

クリスマス会では、手遊びで緊張をほぐした後、パネルやエプロンを使って読み聞かせを行いました。パネルシアターでは「10人のサンタ」や「おおきなだいこん」を上演。次々と変化していくパネルの絵に、子どもたちが釘付けとなりました。

また、暗いところで光る蛍光塗料とブラックライトを使った「ブラックパネルシアター」もあり、幻想的な雰囲気でお話を盛り上げました。会員の武山啓子さんは「読み聞かせを通じて、多くの出会いや発見があります」とい

きた。



ひだまりの会のみなさん



読み聞かせはパネルを使うなど、さまざまな表現で展開



こやかに活動しています。最後にはサプライズでサンタクロースも登場。集まった子どもたちに一人ずつプレゼントを手渡し、受け取った子どもたちは笑顔の花を咲かせました。同公民館の日野智之館長は「デジタルで便利になった時代の中、アナログである本の楽しさを知ってもらう機会になればなにより」と思いを込めていました。

河北公民館
62-2121

ささえあいセンター通信 ⑫

令和4年度地域福祉講演会 ～地域の支え合いを考える大会～ を開催しました

今年度は、地域で活動されている団体からの活動発表と地域福祉に関する講演を開催し、約280名の参加をいただきました。

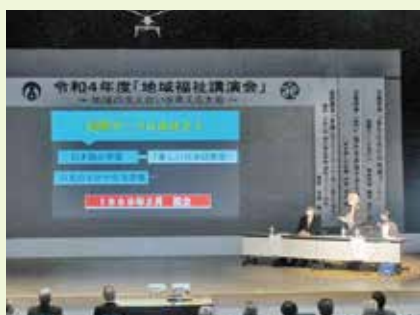
初めに福祉作品コンクールの表彰式が行われ、市内の小・中学生のポスターと標語あわせて20作品の表彰が行われました。

活動発表では、「多様なコミュニティ」をテーマに「一歩を楽しむ石巻」代表の若山崇さんと「国際サークル友好21」事務局長の藤原裕子さんからお話がありました。

若山さんは、自分たちの活動にITを取り入れて情報の共有を行っていることや視覚障害者と視覚障害者でない人が相互理解を深め、楽しむことを心がけて活動していることなどを紹介いただきました。

また、藤原さんからは、外国人住民の言葉の壁の問題を解決していく取り組みや外国人住民が困ったときに相談できるシステムを作る必要性についてのお話がありました。

その後、法政大学の宮城孝先生から「多様なコミュニティで共に支え合う」と題し、コロナ禍における地域福祉の現状と課題、他の地域の事例を通して、地域の支え合いの必要性について講演をしていただきました。



市保健福祉総務課(内線2466) 石巻市社会福祉協議会(☎96-5290)



石巻市立桜坂高等学校

桜坂だより

第33号

こんにちは、桜坂高等学校です。
令和4年10月13日、14日に、体育大会を開催しました。
今日は、その様子を紹介します。



初参加のフレッシュな1年生
昨年のリベンジに燃える2年生
ラストで有終の美を飾りたい3年生が
火花を散らし、手に汗握る試合が目白押しでした。



例年の球技種目のほか、長縄や玉入れなどの種目も加わって、運動が苦手な生徒も楽しむことができるように工夫された大会となりました。



2日間とも天気に恵まれ、
全8種目の競技を楽しく
終えることができました。



河北 にぎわう産業まつり&文化祭

地域の一大イベント復活



Topic of town まちの話題



河北地区を代表する秋の一大イベント「かほく産業まつり」と「かほく文化祭」が令和4年11月3日、河北総合センターで開かれました。産業まつりは令和2年に地理的表示(GI)保護制度に登録された「河北せり」のお披露目会やご当地キャラクター写真撮影会のほか、特産品の販売や試食コーナーなど、多くの人でにぎわいました。文化祭はステージと展示の部門が繰り広げられ、市民の皆さんが日ごろの成果発表を行いました。



石巻 親子で挑戦スギ材の棚づくり

環境市民講座で「木育」

環境市民講座「親子で楽しむ木育講座」が令和4年12月3日、中央公民館で開かれました。自然とのふれあい体験を通して環境を学ぶ企画であり、県産スギ材を使った棚づくりを行いました。清水建設東京木工所の方が講師となり、親子約30人が参加。キリやトンカチといった大工道具を用いて製作。会場にはきぎを打つ心地よい音が響き、親子で木材利用や森林保護を考えていました。



牡鹿 海とつながる-漁業体験-

ふるさとの産業と資源について知る

令和4年11月10日、寄磯小学校の校外学習の一環として漁業体験が行われました。当日は、宮城県漁業協同組合寄磯・前網支所青年部の協力のもと、「わかめの種付け」と「ナマコの放流」を体験し、ふるさとの産業と資源管理についての理解を深めました。普段、海を身近に感じている児童たちですが、より一層、海とつながることができたようです。



雄勝 海岸線の美術館開館

防潮堤に巨大壁画完成

雄勝町上雄勝で、東日本大震災後に建設された防潮堤に二つの壁画が完成し、令和4年11月26日に「海岸線の美術館」として開館しました。無機質な壁面をアート作品のキャンパスにし、交流人口拡大につなげる一般社団法人「SEAWALL CLUB」の企画です。壁画は高さ7.5mで、地元の風景を題材にした幅54.6mの絵と、漁師の背中を描いた幅6.6mの絵があり、灰色の防潮堤に彩りが加わりました。



河南 河南東中で総合防災訓練

土のう作りなど体験

河南東中学校で令和4年11月1日、全校生徒による総合防災訓練が行われました。市職員や広域消防本部、河南地区の消防団員など地域の皆さんが協力し、生徒は避難所運営やテント設営、炊き出し、土のう作りなどを体験しました。初めて実施したのが「土のう作りと積み上げ体験」。消防団員の皆さんから「積み上げる際は、2、3段目は半分ずらして積むと強度が上がるよ」と助言も受けていました



桃生 手づくりで新年の飾りつけを

桃生公民館でしめ縄教室

畳の原料である、い草で作る「しめ縄作り教室」が令和4年11月25日、桃生公民館で開かれました。昨年に引き続き2回目の企画であり、講師に田中畳店を招き、い草を編むところからスタート。束を三つに分けてそれぞれ縛り、ひねりながら縄にしました。最後は3本の縄を締めあげて完成。円形に結った後は、花や扇子などさまざまな小物で飾りつけし、世界に一個しかないオリジナルのしめ縄に仕上げました。



北上 親子で芋掘り地域の産業学ぶ

ポプラ社とイシノマキファーム協力

出版社のポプラ社と一般社団法人イシノマキ・ファームは、令和4年10月29日に北上町十三浜にある農地「ポプラファーム」で、親子対象イベント「掘ろう! 食べよう! サツマイモの会」が開催されました。市内から7組が参加し、20cm前後に育ったサツマイモをたくさん収穫。地元の料理人と一緒に調理し、秋の味覚を味わいました。

